

群馬工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	応用数学Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0017	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材				
担当教員	谷口 正, 福島 博			
到達目標				
複素関数論とフーリエ解析を通して数学的理論の成り立ちを学ぶ。 実際の計算例が正確に解けるようになる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	複素関数について理論の成り立ちが理解されていて計算問題が解ける。	複素関数の計算問題が正確に解ける。	複素関数の計算問題が解けない。	
評価項目2	複素積分について理論の成り立ちが理解されていて計算問題を解ける。	複素積分の計算問題が正確に解ける。	複素積分の計算問題が解けない。	
評価項目3	フーリエ級数とフーリエ変換の理論が理解されていて計算問題が解ける。	フーリエ級数とフーリエ変換の計算問題が正確に解ける。	フーリエ級数とフーリエ変換の計算問題が解けない。	
学科の到達目標項目との関係				
準学士課程 B-1				
教育方法等				
概要	3年まで学習した数学を基礎として、複素関数とフーリエ解析を学習する。 主として正則関数、複素積分、コーシーの積分定理、留数定理、フーリエ級数、フーリエ変換を修得し、工学に適用できる数学的スキルを学ぶ。			
授業の進め方・方法	定理・公式の成り立ちを丁寧に解説し、問題例を詳しく説明する。 さらに問題演習を行わせる。			
注意点				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	
		2週	複素数と極形式	
		3週	絶対値と偏角	
		4週	複素関数	
		5週	正則関数	
		6週	コーシー・リーマンの関係式	
		7週	練習問題	
		8週	中間試験	
後期	2ndQ	9週	逆関数	
		10週	複素積分	
		11週	複素積分	
		12週	コーシーの積分定理	
		13週	コーシーの積分定理	
		14週	コーシーの積分定理の応用	
		15週	コーシーの積分定理の応用	
		16週	練習問題	
	3rdQ	1週	コーシーの積分表示	
		2週	リュービルの定理	
		3週	数列と級数	
		4週	テーラー展開とローラン展開	
		5週	孤立特異点と留数	
		6週	孤立特異点と留数	
		7週	留数定理	
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	フーリエ級数	
		10週	フーリエ級数の収束定理	
		11週	複素フーリエ級数とフーリエ変換	
		12週	フーリエ変換	
		13週	フーリエの積分定理	
		14週	フーリエ変換の性質と公式	
		15週	フーリエ級数と偏微分方程式	
		16週	フーリエ変換と偏微分方程式	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	20	30
専門的能力	60	0	0	0	0	0	60
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10